

宮崎県内の外国人労働者 過去最多 9 7 1 8 人に

2026.01.30

宮崎労働局のまとめによると、2025年10月末時点の宮崎県内の外国人労働者数は9718人となり、過去最多を更新した。

国籍別ではインドネシアが最多で約3000人。

人口減少による人手不足を背景に、今後も増加が見込まれている。



人出不足背景に増加
インドネシア人材が活躍

出典：MRT宮崎放送

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5f1dfca20a071328484467439af9704fd6513d09>

「Welcome to MIYAZAKI!」 特定技能人材の歓迎会

2026.02.20

宮崎県が主催する「特定技能外国人材マッチング支援事業」の歓迎会がKITENビルで開かれた。
外国人介護人材27人（対面5人・オンライン22人）と受け入れ施設職員13人が参加。
新たに採用された人材と施設をつなぎ、定着を後押しする。



出典：宮崎県

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/choju/press/2026/02/20260220102314.html>

宮崎県、インドネシアと 人材受け入れで合意書締結

2026.05.12

宮崎県はインドネシア政府と、技能実習生の育成・受け入れ促進に関する連携合意書を締結した。
知事がジャカルタを訪問し、同国労働省次官と合意書を交換。
県が海外政府機関と連携合意を結ぶのは初めてで、日本語教育の提供なども盛り込まれた。



出典：宮崎日日新聞 <https://www.the-miyanichi.co.jp/today/kennaiippan/764339.html>

介護分野の人材不足解消へ 特定技能外国人材の受入説明会

2026.06.23

宮崎市のKITENビルを中心に、県内の介護サービス事業者向けに特定技能外国人材の受け入れ説明会が開かれた。
延岡市のサテライト会場やオンラインを含め20以上の事業者が参加。
受け入れ準備やトラブル回避、職場定着に必要な対応などを学んだ。



宮崎大学「セカテンみやざき」 9日間の研修がスタート

2026.07.07

宮崎大学など県内4高等教育機関が連携する「大学の世界展開力強化事業」で、米国・韓国・台湾から留学生10人を招いた9日間の研修が始まった。

GX（グリーントランスフォーメーション）など地域社会課題をテーマに、日本人学生と議論やフィールドワークを実施。



出典：宮崎大学 <https://www.miyazaki-u.ac.jp/newsrelease/international-info/post-1512.html>